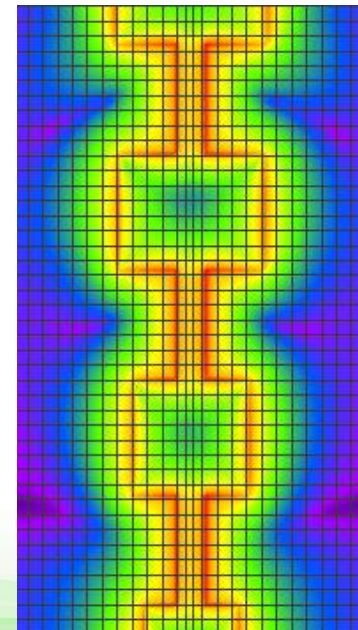
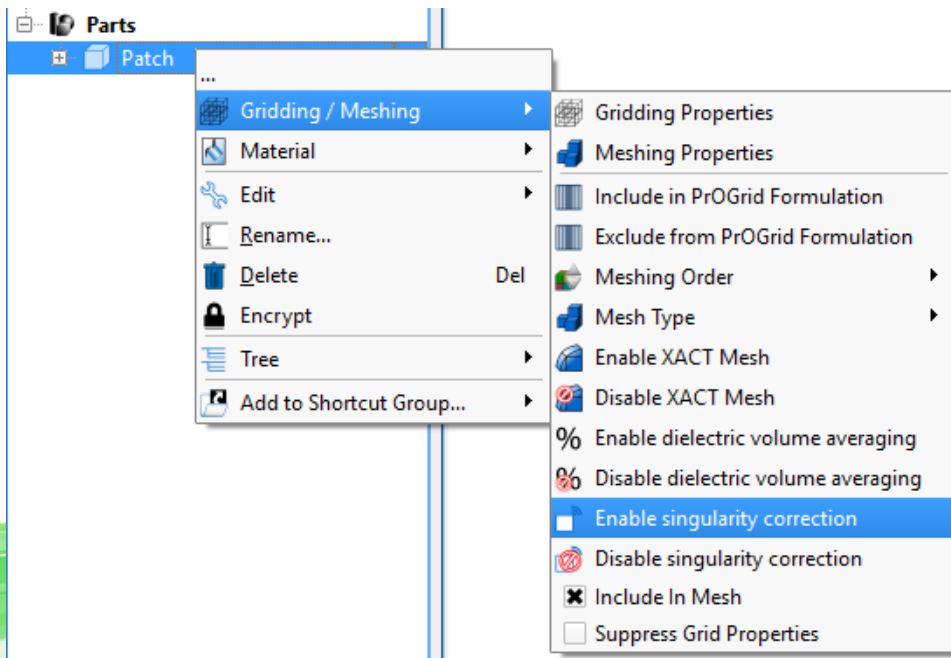


## XFdtdバージョンアップ情報 7.9.1

- 特異点補正
- マテリアルの置き換え

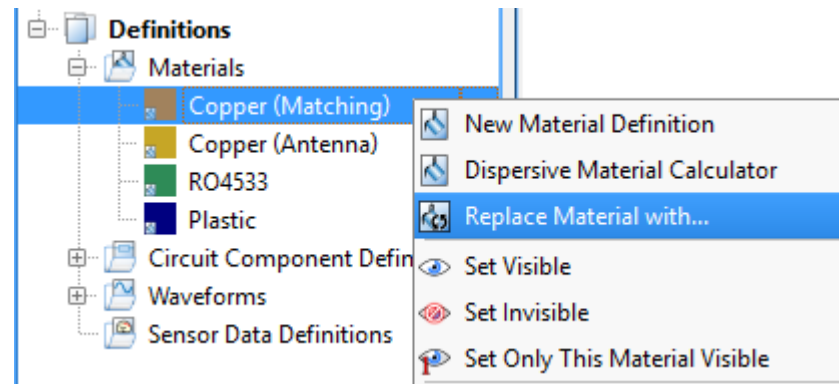
- ✓ XFDTDの最新のメッシング機能である特異点補正は、良好な導体やPECのエッジ部分で大きく変化する電磁界を補正します。
- ✓ 特異点補正を有効にすると、XFDTDは金属のエッジ部分に隣接する電界と磁界を調整し、精度を向上させます。
- ✓ このメッシング・オプションは、アンテナ、送電線、共振器など、電界や磁界が急激に変化することが予想される重要な金属設計コンポーネントに対して有効です。
- ✓ 詳細は開発元のWebサイトをご確認ください。

<https://support.remcom.com/xfDTD/reference/mesh/singularity-correction.html>



# マテリアルの置き換え

- ✓ 選択したマテリアルに関連付けられたジオメトリに、別のマテリアルを適用できるようになりました。
- ✓ この機能は、マテリアル定義の右クリックメニューからアクセスできます。
- ✓ これにより、インポート後にマテリアルを置き換える必要があるCADおよびPCBジオメトリをインポートする際のワークフローが改善されました。



# 開発元のバージョンアップ情報ページ

この他のバージョンアップ項目や詳細情報は開発元のWebサイトよりご確認ください。

<https://support.remcom.com/xfdtd/releases/release-7-9-1.html>